

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73201	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	母性看護援助論 I (健康生活援助) (Maternal-newborn Nursing I)				
担当教員名	小黒 道子 / 遠藤 亜貴子 / 田所 由利子 / 増澤 祐子				
授業の概要及び到達目標					
<p>[授業概要]</p> <p>母性看護学は、リプロダクティブヘルス/ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象および看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目的としている。</p> <p>本科目では、母性看護の対象を身体的・心理社会的存在として、解剖・生理学、母性の概念や女性のライフサイクル、母性心理、母子統計や母子関係法規など幅広い視点から学習する。また、セクシャリティの発達に即して思春期、成熟期、更年期にある対象の健康課題や健康問題を明らかにし、ヘルスプロモーションのための看護の方法を学習する。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>母性の基盤となる概念について説明できる。</li> <li>母性看護の対象を身体的、心理的、社会的側面から説明できる。</li> <li>女性のライフステージ各期の健康と看護について説明できる。</li> <li>マタニティサイクルにある女性と胎児(新生児)の特徴について説明できる。</li> <li>性の健康の概念と医療や看護における性をめぐる出来事について説明できる。</li> <li>ハイリスク妊娠の病態を理解し、必要な看護を述べるができる。</li> <li>チーム基盤型学習の方法に参加することができる。</li> </ol>					
準備学習等					
<p>【講義の準備学習】</p> <p>テキストおよび資料の以下の部分を予習してあることを前提に講義を進めるので熟読しておくこと。</p> <p>提示された事前学習課題に取り組み、講義に持参すること。</p> <p>第1回            テキスト①第1章第1節「母性看護と周産期看護」</p> <p>第2回            テキスト①第1章第5節「法律と制度」</p> <p>第3回            テキスト①第1章第4節④「性と生殖の健康に関する概念」                             第7節「母性看護実践と倫理」                             第8節「女性の選択と決定支援」</p> <p>第4回            テキスト①第2章第2節①「思春期の女性」</p> <p>第5回            テキスト①第2章第2節②「成人期の女性」</p> <p>第6回            テキスト①第2章第2節③「更年期の女性」    ④「老年期の女性」</p> <p>第7,8回          テキスト②第1章第1節「妊娠経過のアセスメントに必要な知識と技術」</p> <p>第9回            テキスト②第2章第1節「分娩経過のアセスメントに必要な知識と技術」</p>					

第 10 回	テキスト②第 3 章第 1 節「産褥経過のアセスメントに必要な知識と技術」
第 11 回	テキスト②第 4 章第 1 節「新生児のアセスメントに必要な知識と技術」
第 12,13,14,回	テキスト②第 1 章第 4 節「妊娠期に起こり得る正常からの逸脱」 第 2 章第 4 節「分娩期に起こり得る正常からの逸脱」 第 3 章第 4 節「産褥期に起こり得る正常からの逸脱」 第 5 節「特別な支援を要する褥婦の看護」 第 4 章第 4 節 A ハイリスク新生児
第 15 回	TBL ガイド 予習資料
講義後にはテキストと講義資料を復習し、提示されたレポート等に取り組むこと。 小テストの復習を必ず行うこと。	
成績評価の方法	筆記試験 80%、小テスト 10%、レポート 10%
テキスト	①有森直子編、「母性看護学Ⅰ概論」、医歯薬出版、2015 ②有森直子編、「母性看護学Ⅱ周産期各論」、医歯薬出版、2015
参考図書	・ 仁志田博司、「新生児学入門」第 5 版、医学書院、2018 ・ 医療情報科学研究所編、「病気がみえる vol.10 産科」第 3 版、メディックメディア、2013
備考	本科目の受講は「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」を理解していることが前提になる。本科目の単位取得は、「母性・小児看護学実習」の前提条件になっている。 各教員のオフィスアワーについては、看護学科「オフィスアワー」の項を参照すること。
授 業 計 画	
第 1 回	科目ガイダンス 母性の概念、母性看護の役割、母性看護の対象、母性看護の基盤となる考え方
第 2 回	母子保健に関連する統計、法律
第 3 回	セクシュアリティ・リプロダクティブヘルス／ライツ
第 4 回	女性のライフサイクル各期における看護 ①思春期の健康と看護
第 5 回	女性のライフサイクル各期における看護 ②成人期の健康と看護
第 6 回	女性のライフサイクル各期における看護 ③更年期・老年期の健康と看護
第 7 回	妊娠期における看護 妊娠期① 正常な妊娠経過と胎児の成長
第 8 回	妊娠期における看護 妊娠期② 妊娠期の身体的・心理的变化とニーズ
第 9 回	分娩期における看護 分娩経過と分娩が母体に及ぼす影響
第 10 回	産褥期における看護 正常な産褥経過と身体的心理的变化とニーズ
第 11 回	新生児期における看護 新生児のアセスメントとケア
第 12 回	周産期の異常①
第 13 回	周産期の異常②
第 14 回	周産期の異常③
第 15 回	TBL 演習